

大豆づくり情報

第 2 号

令和 5 年 6 月 30 日
村山 総合 支 庁
農 業 技 術 普 及 課
TEL : 023-621-8295

適期の中耕・培土と雑草防除で生育量を確保！

ポイント① 中耕・培土

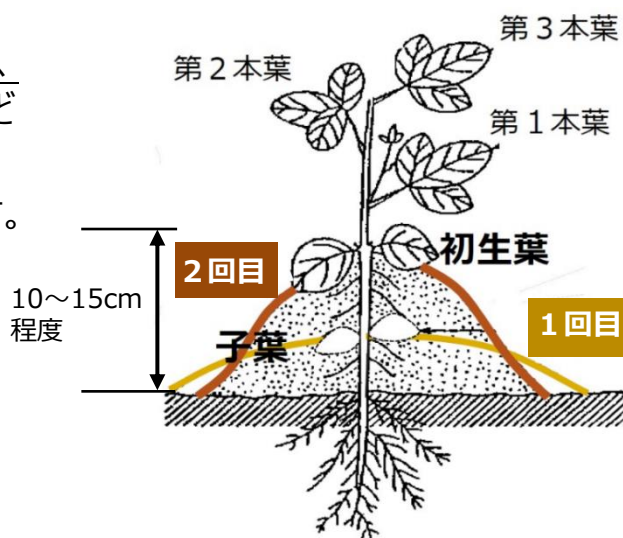
- 中耕・培土には、土壌の排水性・通期性確保、倒伏防止、大豆の根域拡大、雑草の抑制などの効果があります。

- **1 回目**は、**本葉 3 葉期に子葉節まで**行います。

- **2 回目**は、**本葉 6～7 葉期に初生葉節まで**行います。

- 培土を高くすぎると、収穫時の汚損粒の発生につながるため、高さは **15cm 程度**としましょう。

- 根や茎葉部の損傷による開花への影響を考慮し、遅くとも**開花 1 週間前 (7 月下旬) まで**には終わるようにしましょう。



ポイント② 追肥

- **6～7 葉期の培土時**に追肥を行うと、着莢数及び百粒重が増加し、収量向上の効果があります。
- 地力の高低に応じて施用量を調整しましょう。

<追肥量の目安>

被覆尿素 (LPコート70)
窒素成分で 7～8 kg/10a

※硫安は過繁茂になりやすく、根粒活性も低下するため NG!

ポイント③ 雑草防除

- 大豆の生育期に使用できる除草剤を選ぶ際は、雑草の種類(イネ科、広葉)、大豆の葉齢、雑草の葉齢・草丈などの確認が必要です。
- 管内で**帰化アサガオ類**などの難防除雑草の発生が確認されています。
早期対策で拡大させないことが重要です。

【帰化アサガオ類防除のポイント】

- ① 大豆を健全に生育させ、雑草との競合を高める。
- ② 大豆が繁茂し条間を覆う頃まで概ね 2 週間ごとに防除(除草剤、中耕培土)。
- ③ つるになる前に抜き取りを行う。
- ④ 畦畔や農道など、圃場外からの侵入を防止する。

農作業事故と熱中症に注意！ 声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！

機械作業を中断する時は必ずエンジンを止めましょう！

こまめな休憩と水分補給、ゆとりを持った無理のない作業を！